

公益社団法人日本造園学会九州支部研究・事例報告集 投稿・執筆要領（2025.9.5）

公益社団法人日本造園学会九州支部事務局

1. 投稿資格 著者のうちいづれかが日本造園学会会員であることを条件とする。なお申し込み時点で会員がない時は、原稿締切日において会員登録手続き中である者がいければ良い。なお共著の場合は、筆頭著者が口頭発表、もしくはポスター発表を行うものとする。
2. 原稿の取り扱い 本報告集は審査論文集ではなく、投稿原稿は全て掲載することを原則とする。但し、「5. 執筆要領」を大きく逸脱したもの、内容が本報告集に相応しくないと事務局が判断したものについては、投稿者に連絡の上、掲載を断る場合がある。ポスター発表の場合も報告集に掲載するため冊子用原稿を4原稿の送付及び5.執筆要領に従い提出する。
3. 費用の負担 掲載料として、1編あたり3,300円（税込み）を著者が負担するものとする。但し、支部長から執筆依頼を受けたものは掲載料不要とする。掲載料は、筆頭著者名で原稿提出締切日までに下記に振込むものとする。

【銀行名】ゆうちょ銀行	【店名】七四八	【店番】748
【名義】公益社団法人日本造園学会九州支部	【口座番号】	17470-81899031

4. 原稿の送付 原稿は、デジタルデータ(Word形式)のみで受け付ける。2025年10月17日（金）の18時までに、研究・事例報告集の原稿（A4判2頁）を、指定された提出先に送付すること。提出先アドレスは、申込み確認メールにてお知らせします。提出ファイル名は、「口頭発表 発表者氏名」、もしくは「ポスター発表 発表者氏名」とすること。複数の発表を行う発表者に関しては、ファイル名を個別に識別できるようにすること。

原稿とともに6. 投稿データも提出すること。投稿データが確認できない場合には、受理しないことがある。なお、原稿のファイルサイズは25MBまでに収め、一般的ではないフォントを使用する場合はPDFファイルを合わせて提出すること（文字化け確認のため）。なお原稿の保存の際は、「読み取り専用」にしたり「編集の制限」をかけたりしないこと。

5. 執筆要領
- 1) 投稿1編についての刷り上り頁数は2頁とする。原稿は、1ページ目上部の「タイトルおよび著者名」とページ番号を調整するのみで、原則としてその他は提出データをそのまま印刷する。なお書式の統一上、必要となる編集を行うことがある。
 - 2) 出版物の統一感と品格を保つために、以下の各事項を遵守すること。（必ずひな形を使用すること
・和文で、A4判横書き2段組、1段24文字、48行とする。
・余白は上30mm、下25mm、左・右21mm、段間6～7mmとする。
・本文の文字は、9.5ポイント、図表中の文字は原則7～9.5ポイント。縮小印刷した図表を貼り付ける場合も、刷り上がりがこの程度になるようとする。
・本文の文字は明朝体。小見出し、図題、表題はゴシック体。図表中の文字種は自由。
・1ページ目は、タイトル・著者名に5行分を使用する。2ページ目に大きな余白が出ないよう努めることとし、2ページ目が48行に満たない場合は左段、右段が同じ位置、または1行ずれて納めることとする。

6. 投稿データの提出 支部のデータストックとして活用する投稿データは、4.原稿とともに締切日（2025年10月17日（金）18時）までに以下のサイトに必ず登録すること（研究発表の申込とは別に登録する必要があります）。
投稿データ提出フォームのURLは申込み確認メールにてお知らせします。

原稿送付、投稿データ、掲載料の締切は、2025年10月17日（金）18時です。